

PSMT 2.3 build13 リリースノート

ProScan 管理ツールバージョン 2.3（以下、PSMT と呼ぶ）の新バージョン build13 をリリースいたしました。

1. 概要

今回は新しい機能追加とバグ修正を行ったマイナーリリースとなります。

2. リリース内容

- ・最新版取得方法にアップロード方式を追加
 - 従来の弊社アップデートサーバにアクセスできないクローズド環境での運用時に、他環境でダウンロードした PSMT2.3 用アップデートデータをアップロード可能なように機能追加しました。（手動でサーバにアップロード&展開していた作業を PSMT から実施できるようにしました。）
 - PSMT の設定ファイル「config.cgi」を修正することで可能です。
- ・ミラーリング時のログイン不可問題を修正
- ・個別ロールバック機能の追加
 - 現状の全エージェントに対して実施するロールバック機能を個別のエージェントに実施できるようにしました。
 - 各エージェントのコントロール画面から実施可能です。
- ・アクティベーション実施時の通知機能の強化
 - アクティベーションエラー時の情報を細かく通知するように修正。
 - エージェント側の問題でアクティベーション時にセットアップが失敗した場合に、再アクティベーションせずにセットアップのみ可能となります。（従来は再アクティベーションが必要）
- ・コンフィグ編集機能の強化
 - 従来のフォーム形式による DB 版に加え、ファイル形式での管理を可能としました。
 - ファイル版は、コンフィグファイルをそのまま編集する形式となります。
- ・パスワード機能の強化
 - Apache 提供の htpasswd から独自のプログラムに変更
 - サポートする暗号化方式は従来の DES 方式に加えて Blowfish 方式を追加
 - Blowfish 方式の場合には最大 72 文字まで利用可能となります。
- ・エージェントプログラムの修正
 - ゾンビ化する場合がある問題を修正しました。
- ・ログアウト機能の追加
 - 共有端末での利用時に継続利用ができないようにセッション情報をクリアして再ログイン

ンが必要なようになります。

- ・ 管理者ガイド表示機能の追加
 - 管理者ガイドの PDF ファイルをブラウザ上から参照できるようにしました。これにより、ヘルプ画面と同様に利用できます。
- ・ サポート OS を変更
 - Linux は RHEL8 以降
 - AIX は 7.2 以降
 - Perl の CGI モジュールとして CGI.pm、File::Copy が必要となります。
- ・ サポート Web サーバを変更
 - Apache2.4 以降
 - これ以外は未サポート

3. ダウンロード

パッケージは以下よりダウンロード可能です。

【マネージャ】

https://www.promark-inc.com/dl/PSMT2.3/psmt_2.3.13-manager-pkg.tar.gz

【エージェント】

https://www.promark-inc.com/dl/PSMT2.3/psmt_2.3.13-agent-pkg.tar.gz

【管理者ガイド】

https://www.promark-inc.com/dl/PSMT2.3/PSMT2.3_IBM_AdminGuide.pdf

4. アップグレード方法

パッケージ内に upgrade.sh を同梱していますので、こちらのスクリプトを利用してアップグレードを実施してください。利用環境を build13 の利用条件に合わせてから実施してください。

```
upgrade.sh "PSMT サーバの IP アドレス"
```

なお、アップグレードを行いう場合には build12 からとなりますので、ご注意ください。アップグレードでは実行モジュールのみの修正となりますので、データや設定ファイルの変更はございません。

5. その他

詳細につきましては、管理者ガイドを参照ください。

以上